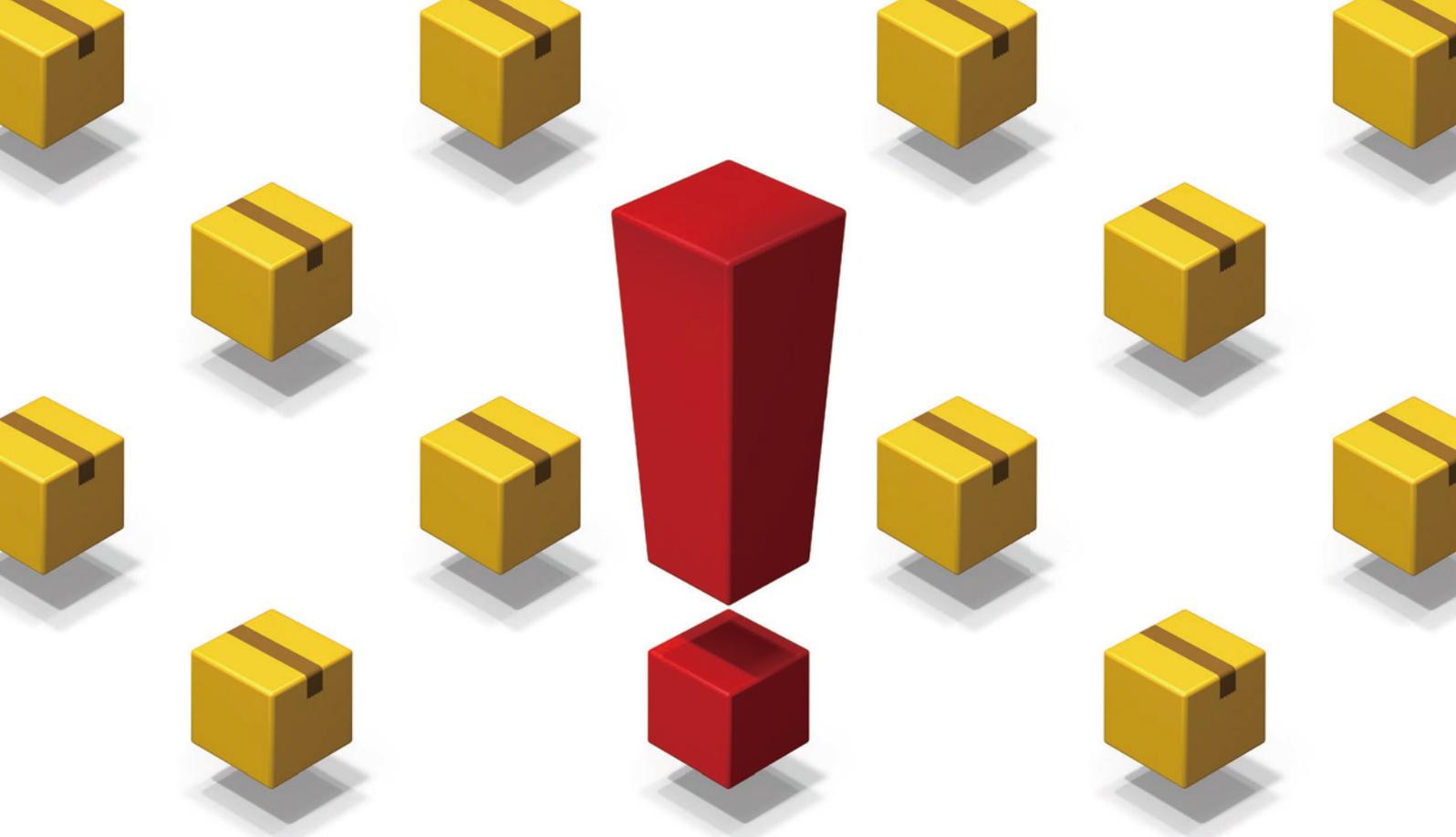
公益財団法人　日本ハンドボール協会 編
平成29年8月1日発行（毎月１回１日発行）　通巻570号

ハンドボール

8
AUG.2017
No.570

●第５回東アジアU-22ハンドボール選手権（男・女）

●第37回全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会

公益財団法人　日本ハンドボール協会

世界が驚く、
物流をつくろう。

東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー

詳しくはこちら http://www.yamato-hd.co.jp/tokyo2020/ 世界が驚く、物流をつくろう。 検索

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランを日々ご提案しております。　自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズも順調に分譲し続ける中、『 東京オリンピック 』まであと3年となりました！選手達と共に、より一層邁進してまいります！

代表取締役　青木 理恵

私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202
TEL：03-3525-8986 / FAX：03-5295-8188　http://yurika-co.jp/

ハンドボール 8月号 No.570

【表紙の写真】第５回東アジア U-22 選手権
（写真提供：スポーツイベント社）

CONTENTS

がんばれハンドボール 20 万人会「サポート会員」6 月入会・継続会員

【青森】田辺貴美子【群馬】酒井　宏【埼玉】齋藤和也【東京】増田美穂子、塩川安賢、岡本康男、小笠原泰代【神奈川】河野卓也、吉澤和美、木本一成、稲葉鋭夫【愛知】持田公一郎、黒部泰弘【福岡】日野祐一郎【沖縄】崎田尚孝

次号 9 月号（No. 571）は 9 月 1 日発行予定です。

第5回東アジア U-22 ハンドボール選手権（男・女）

開催期間	2017年6月26日～7月2日
開催地	岩手県・花巻市
主催	東アジアハンドボール連盟
共催	公益財団法人日本ハンドボール協会、岩手県ハンドボール協会、花巻市
主管	公益財団法人日本ハンドボール協会、岩手県ハンドボール協会、花巻市
会場	花巻市総合体育館 第3アリーナアネックス
参加チーム	男子：日本、韓国、中国、チャイニーズタイペイ、香港
	女子：日本、韓国、中国、チャイニーズタイペイ、香港

2点共　写真提供：スポーツイベント社

男子は４戦全勝で優勝！

順位	出場チーム	勝	敗	勝点	得失点差
1	日本	4	0	8	+62
2	韓国	3	1	6	+43
3	チャイニーズタイペイ	2	2	4	+15
4	中国	1	3	2	-42
5	香港	0	4	0	-78

２点共　写真提供：スポーツイベント社

女子は2勝2敗で3位に

順位	出場チーム	勝	敗	勝点	得失点差
1	韓国	4	0	8	+47
2	中国	3	1	6	+32
3	日本	2	2	4	+47
4	チャイニーズタイペイ	1	3	2	-35
5	香港	0	4	0	-91

2点共　写真提供：スポーツイベント社

戦評：男子

■ 6 月 27 日

日本　27(16−8・11−8)16　チャイニーズタイペイ

選手権初戦の日本と 2 戦目のチャイニーズタイペイの試合。日本は中野のサイドシュートを皮切りに牧野の力強いカットイン、堀のサイドシュートで 15 分までに 9 対 1 と好調な滑り出し。対するチャイニーズタイペイは CHEN の速攻や WU のスピンシュート・スカイプレーで応戦するも日本の組織的な DF と岡本のナイスセーブに阻まれ、前半 16 対 8 と日本の 8 点リードで折り返す。

後半開始早々、チャイニーズタイペイ CHAI が日本のノーマークシュートを連続セーブ。コートプレーヤーもそれに応えるように LIU、PAN のミドルシュートで流れを引き寄せる。対する日本は 15 分たまらずタイムアウトを請求するも、西山のロングシュート、田中のカットインなどチャイニーズタイペイの高い DF に冷静に対応し、地力に勝る日本は初戦を白星で飾った。

■ 6 月 28 日

日本　42(29−8・13−11)19　香港

香港スローオフで試合開始。日本の DF 陣は序盤から積極的にプレスを掛け、パスミスからの速攻で小澤、徳田がゴールを量産。香港も LAW のミドルシュートで反撃するも日本のスピードに翻弄され続け、大量リードを許してしまう。劣勢の中 SINGH が攻守ともに存在感を示すが、GK 友兼の抜群の安定感の前に日本ゴールには程遠いまま前半を終える。

後半開始早々、香港は数の優位を活かし、負傷を押して出場した CHAN がサイドシュートで反撃。粗さが目立ち始めた日本を LAW のカットイン、GK の WONG による好セーブで懸命に追いかけるが、有効打が与えられないまま試合は終盤へ。タイムアウト明けにメンバーチェンジした日本の隙を伺うが、反撃及ばず。日本は余力を残したまま勝ち点４を手にした。

■ 7 月 1 日

日本　34(16−7・18−7)14　中国

休養明けで気力十分の日本を、最終戦を白星で飾りたい中国が迎え撃つ。日本は地元の声援を受けた安倍と玉川のコンビネーションで幸先よく先制すると、牧野の巧みなゲームメイクを起点としてゴールを量産。守っては高さのある 3 枚目、機動力のある 1、2 枚目が安定して機能し、GK 坂井も体を張った好セーブを連発。中国は劣勢の中、ZHAO のミドルシュート、CHEN のポストプレーで対抗するも、その後は退場者が続出するなど流れが掴みきれないまま後半へ。

攻守ともに抜群の働きを見せていた徳田の勢いは後半でも止まらない。この日 7 得点の左腕を起点とした速攻連取で、中国 GK の CHU の好守も空しくゴールネットを揺らす。中国は強靭なフィジカルを活かし PV の XIE が意地を見せるも散発。日本はその後も安倍が絶妙な逆スピンシュートを見せるなど得点を重ね、無傷の 3 連勝で韓国との優勝決定戦に臨む。

■７月２日

日本　30(15−12・15−10)22　韓国

互いに全勝同士で臨んだ優勝決定戦。日本応援団の大歓声がこだまする中、玉川のポストシュートで今大会フィナーレの幕が開いた。序盤日本はゲームメイカー牧野を起点として韓国 DF 陣を翻弄。対する韓国は KIM が奮戦するも GK 岡本がこれをよく守り、前半 12 分には痛恨の 2 分間退場となるなど序盤は苦しい展開を強いられる。意地を見せたい韓国は PARK の高い身体能力を活かして反撃。メンバーチェンジした日本の連係ミスを突き 6 連取に成功するなど一気に詰め寄り、双方予断を許さぬ状況のまま前半を終える。

後半の先制弾は地元の大声援を背にした安倍。その後も再び安倍、牧野と続くが安定していた守備に綻びが見え始め、韓国のフィジカルを活かしたオフェンスに対応できず 8 分同点に追いつかれる。KIM の好守も冴え、再度戦況は膠着する。均衡を破ったのはやはり牧野。決死のカットインから相手の反則を誘い、それに勢いづけられ小澤、北詰らが速攻でゴールを量産。後が無い韓国は好機を狙うが岡本が好セーブを連発。完全に主導権を握った日本はその後も危なげなくゲームを進め、日本男子は初優勝の栄冠を手にし、安倍は故郷へ錦を飾った。

４点共　写真提供：スポーツイベント社

戦評：女子

■ 6 月 26 日

日本　31(14−7・17−8)15　チャイニーズタイペイ

第 5 回東アジア U − 22 ハンドボール選手権はチャイニーズタイペイのスローオフで試合が始まる。前半序盤は両チームとも硬さが見られるものの、日本は、徐々に 6 − 0DF が GK 榎を中心に機能し始めると、OF では中山、大松澤らの速攻などで得点を重ねる。対するチャイニーズタイペイは日本の 6 − 0DF に劉、潘らのミドルシュートで応戦。試合の主導権を握ったのは日本。前半中盤の行本らの速攻などで 6 連取し、14 対 7 と前半を日本リードで折り返す。

後半、硬さのとれた日本はチャイニーズタイペイの OF に対応し、後半 10 分過ぎまで 1 失点に抑えるなど、DF でリズムを作り、速攻につなげる展開を最後まで続け、突き放した日本が 31 対 15 でチャイニーズタイペイを下した。

■ 6 月 28 日

中国　25(11−12・14−11)23　日本

ともに初戦を快勝した中国と日本の第 2 戦は、中国のスローオフで試合開始。開始早々中国は Mu のパワフルなポストプレーから日本の反則を誘い、Tian の 7mT で先制する。対する日本も大松澤を起点とした鋭いカットインから得点を重ね、吉留、相澤の速攻連取で 16 分逆転に成功。その後も双方果敢にゴールを狙うが、両キーパーの好セーブも光り、膠着状態のまま前半を折り返す。

後半、Lin のステップシュートを端緒として中国ペースで試合が進む。日本は 8 分並木が 2 分間退場するなど攻守ともに精彩を欠き、連係ミスに苦しむ展開が続く。後半 18 分、中国が痛恨の交代ミス。日本は数の優位を活かし、相手 DF の隙を突くフェイントからの得点で徐々ににじり寄る。しかし、この日 12 得点の Lin の勢いは止まらず、日本は終盤 7 人攻撃を試みるも不発。中国が僅差のゲームを競り勝った。

■ 7 月 1 日

日本　47(21−4・26−6)10　香港

香港のスローオフで試合開始。前半、日本は積極的な 6 − 0DF が機能し、相手のパスミスやシュートミスを速攻につなげる。中山や尾辻らがよく走り得点を量産、8 連取と香港を圧倒する。対する香港は WU や LEUNG らが、局面を打開しようと攻撃を試みるがなかなか得点できない。前半途中からメンバーを交代しながらも、運動量が落ちない日本が 21 対 4 と大量リードで前半を終了する。

後半少しでも点差を縮めたい香港は、積極的にメンバー交代を行いながらゴールを狙うものの日本の DF を崩すことができず、逆に点差をつけられてしまう。日本は DF シフトを様々変更しながらも、持ち味である機動力を活かして積極的に守り速攻につなげるというスタイルを貫き通した。攻守にわたり圧倒した日本が 47 対 10 で勝利し、優勝に向けて一縷の望みをつないだ。一方、点差がつきながらもあきらめることなくゴールに向かった香港チームに称賛を送りたい。

■７月２日

韓国　24(13－10・11－10)20　日本

７日間におよぶ熱戦を繰り広げてきた第５回東アジア U-22 ハンドボール選手権大会も最終戦となった。全勝の韓国に２勝１敗で追う日本。どちらも優勝への大事な一戦となった。

1000 人を超える観客の中、韓国のスローオフで試合が始まる。SHIN のセンターからのカットインで先制した韓国は前半５分まで３連続得点をし、３対０とし試合を優位にすすめた。それに対し日本は韓国の積極的な６－0DF に攻めあぐみ、なかなか得点へつなぐことができずにいたが､前半５分 21 秒のタイムアウト直後､大松澤のシュートが決まり､1 対３とした。その後、日本の６－0DF が機能し始め、韓国との一進一退の攻防となった。前半終了間際、左サイド吉留が角度のないところからサイドシュートを決め、３点差で前半を終了した。

相澤のカットインの得点で後半がスタートした。韓国は速い球回しで日本の DF を崩し、MOOM のミドルシュートで加点し日本に追撃をさせなかった。日本は GK 榎の 7mT 阻止の好セーブ等で韓国の攻撃をしのいだが、韓国 GK の KIM の好セーブで得点差を縮めることができないまま後半の終盤を迎えた。

試合終了まで果敢に攻め、尾辻、中山らが得点をしたが、最後まで主導権を握り、優位に試合を進めた韓国の勝利となった。その結果、韓国が全勝による優勝をつかみ大会の女子の日程が終了した。

４点共　写真提供：スポーツイベント社

第37回 全国クラブハンドボール選手権大会 西地区大会

開催期間　2017年7月1日～7月2日
開催地　徳島県・鳴門市、北島町
主催　(公財)日本ハンドボール協会、全日本社会人ハンドボール連盟
主管　四国ハンドボール協会、徳島県ハンドボール協会
後援　徳島県、徳島県観光協会、鳴門市、鳴門市観光協会、
北島町、徳島新聞社、四国放送、NHK徳島放送局、FM徳島
会場　鳴門アミノバリューホール、北島北公園体育館

男子：SFIDA山口、女子：EHCが共に初優勝！

最終順位

[男子]
優　勝　SFIDA山口
準優勝　B.I.C
３　位　中央クラブ、熊本教員クラブ

[女子]
優　勝　EHC
準優勝　ninfa-kagoshima
３　位　香川レディース、HC長崎

第37回全国クラブ西地区大会を振り返って

徳島県ハンドボール協会常任理事　古野 幸司

平成29年7月1日、2日の二日間、本県において西地区大会が開催されました。九州・中国・四国の3ブロックから男女各12チームが集い、予選リーク・順位決定戦・決勝トーナメントと非常にタイトなスケジュールの中、熱戦が繰り広げられました。

今大会において特筆すべきは、広島県協会のご尽力により中国ブロック割り当て3チーム、徳山クラブ・HC岡山・アーホルンHCに参加いただいたことでした。女子の一般A登録チームが減少傾向にある中、本当にありがとうございました。

さて、大会においては男子決勝がSFIDA山口「山口県」とB.I.C「沖縄県」の間で行われ、終了間際の劇的シュートによりSFIDA山口が優勝しました。

女子決勝はEHC「愛媛県」とninfa-Kagoshima「鹿児島県」が対戦し、予選リーグから安定したチーム力を発揮してきたEHCが優勝しました。これを弾みに地元愛媛県で開催される10月の国体での活躍にも期待したいものです。

優勝された2チームの皆さんおめでとうございました。

本大会を通してクラブ大会を存続することが、ハンドボールの普及発展につながると感じました。大会に参加する選手の二世・三世がハンドボールに興味を持ちジュニアクラブで活動し、それ以降も本大会に参戦するまでハンドボールを続けてほしいものです。

最後になりますが、本大会は審判のA・B級審査の対象大会に指定され、多くの審判に受験のために来県いただき、審査を受けながらも大会運営にご協力くださいましたことに改めてお礼申し上げます。併せて、日本協会・四国協会・本県関係者のご尽力によりましてスムーズな大会運営が行えたことに感謝申し上げるとともに、西地区大会が今後も3ブロック手を携えて開催継続していただけることをお願い申し上げ、本大会回顧といたします。

男子優勝

SFIDA 山口

SFIDA 山口代表　宇佐川 悟志

はじめに、第 37 回全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会を開催するにあたりご尽力いただきました徳島県ハンドボール協会をはじめ、関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

今年はクラブハンドボール選手権本戦に挑戦するのは３度目となりました。２度目に挑戦した第 35 回大会に続き優勝できたことをうれしく思います。今大会ではどのチームとも苦しい戦いの連続でした。その中で勝ち進められたことの要因はチーム全員が一丸となり、誰もが試合に全力で取り組めたからだと思います。

大会ではリーグで Various 鹿児島、新居浜クラブ、準決勝では中央クラブ、決勝では BIC と、どのチームも強豪であり、苦戦を強いられましたが、練習で積み重ねてきたことが実を結び勝利を得ることができました。特に決勝は最後の最後まで勝負の行方が分からず、気持ちで負けてしまいそうになる場面もありました。そのような試合でも勝ちきることができたことを誇りに思うとともに、BIC や今大会で試合させていただいたチームへの敬意は尽きません。本当にありがとうございました。また、試合だけではなく、試合以外のところでも気持ちの良いチームばかりで、我々もそう在りたいと思います。

一昨年でもご紹介しましたが､このチーム「SFIDA 山口」は創立してからの年数が浅く､今年で５年目となります。伝統あるチームと比べると選手層や歴史がまだまだですが、更なる成績や栄光を残せるように、日々練習に取り組もうと思います。「SFIDA」とはイタリア語で「挑戦」を意味する言葉です。チームの名に、また今回参加されたチームの方々に恥じない、挑戦し続けるチームでありたいと思います。

最後に応援してくださった皆様、様々なことに協力してくださった方々、今大会に携わった多くの方々・チームの皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

女子優勝 EHC

EHC（愛媛ハンドボールクラブ） 武田 有未

私たち EHC は 10 月に開催される「愛顔つなぐえひめ国体」の強化チームです。住居地も仕事も年齢もハンドボール歴もばらばらの私たちですが、ハンドボールに対する熱い思いはみんな持っているチームです。平日もそれぞれ仕事を終え、高速道路や山道を走って体育館に集合できるのは 20 時。終わって帰るのに、翌日になったこともあります。それぞれが国体に向けて時間を絞り出し、職場の理解に感謝しながら、仕事と両立させています。

１人１人の能力が高くないので、勤勉に DF し、もぎ取ったボールを走ってつなぎ１点を取るといったチームスタイルを掲げています。

今回の全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会への出場は、これまでの強化練習の確認としてチーム全員で『絶対優勝』を共通目標にしました。大きな試合に慣れていない選手も多く、初戦はよい流れをつかみ取ることができませんでしたが、どのような状況でも「するべきことを勤勉に続ける」ことを繰り返しました。まだまだ課題は多いのですが、１人１人の改善すべき点が明確になり、10 月までの練習メニューの設定やモチベーションのもち方、チーム状況のコントロールが良い方向になるよう、再出発をしたところです。「これ以上できない」ところまで努力し、観戦している方に「明日頑張ろう」と思っていただけるようなゲームが国体でできるよう、この優勝をきっかけに頑張り続けます。

今回は EHC 発足後、初優勝でした！「おめでとう」と言われ慣れていない私たちに「おめでとう」と声をかけてくださった皆様に心より感謝いたします。ありがとうございます。

戦評　男子

■準決勝

B.I.C　28(13ー9、15ー8)17　熊本教員クラブ

熊本のスローオフで始まった試合は、開始早々からスピーディーな展開。松岩のロング、高野のサイドシュートなどで熊本が２対０とリードするも、B.I.C は立て続けに速攻を決め上里のカットインシュートで６分には３対２と逆転。その後一進一退の攻防となり、９分には４対４の同点となるが、10 分過ぎに B.I.C は高田のロングなどで２連取し、点差を２点に広げた。追いつきたい熊本は松岩がロングを決めるも２点差のまま 20 分が経過。逆に B.I.C は内田のポストシュート、高田のシュートなどで点差を広げ、13 対９と４点差とし、前半終了。

４点差で始まった後半、なかなか両チームともに得点をあげられないまま４分が経過。B.I.C は速攻をものにし５点差に。点差を広げたい B.I.C と早い時間帯に追いつきたい熊本、それぞれ得点を重ねるが、差は縮まることなく 16 対 11 と５点差のまま 10 分が経過。11 分、B.I.C は内田のポストシュートで６点差とするも、熊本は高野がポストシュート、速攻を連取し４点差まで差を縮める。逆に B.I.C も通事の２連取により 15 分には再び６点差に。ここで熊本はタイムアウトを取り流れを変えようとするが、19 分以降相手のミスを確実に得点に繋げた B.I.C が残り５分で 24 対 14 と 10 点差とし、その後も得点を重ね 28 対 17 と勝利した。

■準決勝

SFIDA山口　22(10ー10、12ー7)17　中央クラブ

開始直後 SFIDA 山口の中谷が先制。すかさず中央クラブも１点を返したが、SFIDA 山口の堅実な守備からの速攻に序盤ゲームを展開する。中央クラブの山岡の好セーブがチームに勢いをつけ多彩なセットオフェンスで攻め 10 対 10 の同点で終了。

後半 SFIDA 山口が２連続得点するも中央クラブも同様に得点を重ねる。両者互角のままゲームが流れる。後半８分中央クラブ三谷が退場し奮起するも速攻で得点を許す。中盤、中央クラブ堅石がせまい角度から同点弾を放つも SFIDA 山口の若さとスピードのある攻撃には及ばず 22 対 17 で SFIDA 山口が勝利した。

■決勝

SFIDA山口　22(12ー13、10ー8)21　B.I.C

SFIDA 山口のスローオフで始まった男子決勝。B.I.C が速攻から先制するも、SFIDA 山口も早いリスタートから同点に追いつくと、木村のサイドシュートで逆転に成功。しかし、次第にディフェンスが機能し始めた B.I.C は、パスカットからの速攻などで４連続得点をあげ、８分には６対３と３点リードとした。その後、SFIDA 山口も井上のポストシュートなどで得点を重ね、11 分には６対６の同点に追いつくと相手のミスを連取に繋げ、15 分には 10 対７と３点リード。ここでたまらずタイムアウトを取った B.I.C は流れをつかむと、３連取で一気に 10 対 10 の同点とし 20 分が経過。その後 21 分に勝ち越した B.I.C が 13 対 12 と１点リードして前半を終了した。

１点リードの B.I.C のスローオフで始まった後半、２連取で 15 対 12 と３点差とする。その後チャンスは作るものの両チーム GK の好セーブもあり、なかなか得点を挙げることができない両チーム。10 分経過時点では 16 対 14 と B.I.C が２点リード。何とか追いつきたい SFIDA 山口は藤木のシュートで 17 分に 18 対 17 と逆転に成功。B.I.C も高田のロングなど２連取で 18 分に逆転するも、SFIDA 山口も負けじと 20 分、21 分に得点を上げ再び逆転。残り１分 30 秒で 21 対 21 の同点に追いついた B.I.C だったが、パスカットからの速攻で痛いシュートミス。逆に SFIDA 山口は残り 10 秒、堀がロングを決め劇的な逆転勝利を飾った。

戦評 女子

■準決勝

ninfa-kagoshima　19(8−10、11−6)16　HC長崎

HC 長崎のスローオフで試合が始まる。HC 長崎・鐘ヶ江のミドルシュートが決まり、HC 長崎のペースで試合が展開されていく。スピードをいかした速攻から得点を重ねていく。ninfa-kagoshima も GK を中心とした堅い DF からリズムを作り、西郷のサイドシュートで加点していく。前半終了間際にも HC 長崎が得点を重ね 2 点リードで前半を終了した。

後半開始後も両チーム得点を重ねていく。ninfa-kagoshima は西郷の活躍もあり、同点に追いつく。退場者も出すが GK 伊地知がナイスセーブも見せて、2 分間をしのいだ。後半 13 分から連続 5 得点もあり、ninfa-kagoshima が九州対決を制し、決勝進出を決めた。

■準決勝

EHC　29(12−6、17−12)18　香川レディース

開始直後、EHC 木村がファウルから 7mT をとり、久原が冷静に決め先制した。その後、両チームとも攻防を繰り返していたが、決定力に安定を見せる EHC が点を重ねていく。速攻による点も加わり、12 対 6 で EHC リードのまま前半終了。

後半も EHC リードのまま試合が進む。後半開始 10 分ほど香川レディースは追い上げを見せる。しかし、メンバーを変えると木村を中心にゲームを創る EHC の攻めを止められず点差は開き、29 対 18 で EHC が勝利した。

■決勝

EHC　32(16−9、16−11)20　ninfa-kagoshima

EHC のスローオフで試合が開始された。ninfa-kagoshima の平野が落ち着いて 7mT を決め先制した。EHC はアグレッシブな DF から相手のミスを誘い、久原の速攻などの連続得点でリードを広げる。ninfa-kagoshima も得点を重ねていくが、EHC のペースで前半が終了する。

後半、巻き返しをはかりたい ninfa-kagoshima だが、退場者を出してしまい、なかなかペースをつかむことができない。EHC は数的有利な状況を生かし、確実に加点していく。ninfa-kagoshima も牧瀬を中心とした巧みなプレーを見せるが、EHC の勢いを止めることはできなかった。EHC は久原が活躍し、初優勝を飾った。

2019年女子世界選手権大会に向けた取り組み

2013 年 10 月 28 日、カタール、ドーハで開かれた IHF 理事会で 2019 年女子世界選手権開催国を決める重要なプレゼンテーションのアンカーを任された当時、熊本国府高女子ハンドボール部・竹原千賀選手の初々しい英語でのスピーチの最後の「日本に私のシュートを見に来てください」という言葉が IHF 理事たちの心をがっちりつかみ、熊本に 2019 年度女子世界選手権開催が決定し早 4 年の歳月が流れた。

この 4 年間で大会に向け様々な事に取り組んで来た最中、「平成 28 年熊本地震」が発生し、世界選手権も不安視されたが、県民の暖かいご支援で大会に向け大きく歩み出せたことに安堵した 1 年間であった。

「頑張るバイ　熊本」を合言葉に「世界選手権大会を通じ力強く復興していく熊本の姿を世界の方々に見て頂こう」と平成 28 年度取り組んだ内容を機関誌を通じ皆様にご報告させていただきます。日本国内のハンドボール愛好者の方々に熊本に足を運んで頂くためにも、残された時間を通じ 2019 年女子世界選手権大会の情報を愛好者の皆様にも機会あるごとに共有してまいります。

皆様のお知恵とお力をお貸しください。

「2019 女子世界選手権プロジェクト」常務理事　西窪 勝広

平成28年度事業報告

2019 女子世界選手権・熊本組織委員会・理事会

1　2016 ヨーロッパ女子ハンドボール選手権視察（スウェーデン）について

◆視察期間　H28.12.13 ～ 12.20

2019 年大会が女子選手権であることから、女性や障がい者の視点での大会等の運営状況の調査・視察を目的として視察を実施。事務局の女性職員 3 人を派遣。

旧市街にとけ込んだ高い PR

身体障がい者用の観客席

女性ボランティア

試合結果　優勝：ノルウェー、準優勝：オランダ、3 位：フランス

決勝戦　ノルウェー　30 ― 29　オランダ

3 位決定戦　フランス　25 ― 22　デンマーク

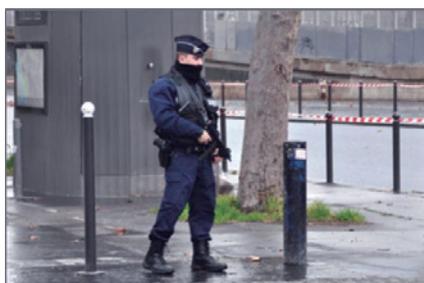
2　2017 男子ハンドボール世界選手権視察（フランス）について

◆視察期間　H29.1.10 ～ 1.16（第 1 班）、H29.1.25 ～ 1.31（第 2 班）

第 1 班は、大規模国際大会の実績が豊富かつ治安情勢から厳重な警備が予想されるフランス大会で、大会運営、警備・輸送等に関するノウハウの蓄積を目的として視察を実施し、事務局職員 4 名、県警 2 名を派遣。

第 2 班は、2019 年大会や 2020 東京オリンピックの事前キャンプ地を熊本へ誘致するためのロビー活動等を目的とし、県議会、県ハンドボール協会等とともに、事務局職員 2 名が大会視察を行う。国際ハンドボール連盟（IHF）や各国ハンドボール連盟との接触を積極的に実施し、2019 年大会のアピールやキャンプ地としての熊本の魅力を PR。

開会式

都市装飾

警察による会場周辺警戒状況

IHF ムスタファ会長と県議会議長

各国競技団体幹部との情報交換

試合結果　優勝：フランス、準優勝：ノルウェー、3 位：スロベニア
　決勝戦　　　フランス　　33 ― 26　ノルウェー
　3 位決定戦　スロベニア　31 ― 30　クロアチア

3　国際大会運営スタッフ養成研修会について

　H29.1.24（火）～ 25（水）日本ハンドボール協会により、国際大会運営スタッフ養成研修会が開催され、講師には、リオ五輪ハンドボール競技スポーツマネージャー「開催地運営責任者」ダニエラ・コエーリョ氏を招き、県ハンドボール協会及び事務局スタッフに対して国際大会のコーディネート、国際スタッフに必要なコミュニケーション等についての講演会を開催。

4　「女性アスリートの戦略的強化・支援プログラム」について
（スポーツ庁委託事業／日本スポーツ振興センター再委託事業）

◆ H29.2.24（金）
　IHF スタッフによるコーチ・レフリートレーニング、大会運営ミーティング等
◆ H29.2.25（土）、26（日）両日 14：00 ～
　日本代表 U22（ヤングおりひめジャパン）対 カザフスタン代表

5　第 41 回日本ハンドボールリーグ女子プレーオフについて

　アクアドームくまもとで第 41 回日本ハンドボールリーグ女子プレーオフが開催された。ハーフタイムショーではくまモンが登場した。また、会場内では PR ブースを設置し、バックパネル、幟を掲出。併せてチラシ及びグッズ類を配布。
◆ H29.3.25（土）
　13:10 ～　準決勝①　北國銀行 vs 三重バイオレットアイリス（23 ― 20）
　15:10 ～　準決勝②　オムロン vs 広島メイプルレッズ（25 ― 19）
◆ H29.3.26（日）
　13:15 ～　決勝　　　北國銀行 vs 広島メイプルレッズ（23 ― 14）

6　IHF による現地視察

H29.3.30（木）～31（金）にIHF による競技会場（パークドーム熊本、アクアドームくまもと、八代市総合体育館、山鹿市総合体育館）及び宿泊施設の視察が行われた。

7　大会 PR 活動等について

大会シンボルマークを活用したポスターやチラシ、うちわ、シール、クリアファイル等のグッズ類を作成し、国内のハンドボール競技大会やスポーツイベント等の機会を捉え PR を実施。

(1) 熊本県高等学校総合体育大会ハンドボール競技（決勝戦）

◆日時　H28.6.6（月）
◆場所　山鹿市総合体育館

(2) 第 21 回ヒロシマ国際ハンドボール大会視察及び大会広報

◆大会期間　　H28.7.21（木）～ 24（日）
◆競技会場　　東区スポーツセンター（広島県広島市）
◆参加チーム　男子　江蘇省（中国）・日本代表・湧永製薬
　　　　　　　女子　江蘇省（中国）・SK オーフス（デンマーク）・日本代表・広島メイプルレッズ
◆視察項目及び内容
・試合会場（コート、施設・諸室の整備状況、選手・観客動線、VIP 対応、メディア動線等）の視察調査
・各種会議（レフェリー、代表者）及び各種パーティー（ウェルカム・フェアウェル）視察調査
・選手、役員の宿泊施設視察調査
・PR ブースの出展による大会広報
・ハーフタイムイベントの実施（熊本城おもてなし武将隊）による大会広報及び震災復興支援のお礼

(3)「子供霞が関見学デー」での PR

◆日時　H28.7.27（水）～ 28（木）
◆場所　文部科学省

(4) 日本ハンドボールリーグ開幕戦

H28.9.10（土）山鹿市総合体育館における日本ハンドボールリーグ開幕戦において PR 活動を実施。
　女子：オムロン・HC 名古屋
　男子：大崎電気・湧永製薬

(5) 城下町大にぎわい市、ロアッソ市民 DAY での PR

H28.10.8（土）～ 9（日）熊本市で開催された、第 13 回城下町大にぎわい市及びロアッソ市民 DAY にブースを設置し大会 PR を実施。

(6) ふれあいスポーツの日

H28.10.10（月）千原台高校において、大同特殊鋼ハンドボール部によるハンドボール教室が行われた。併せて大会 PR ブースを設置するとともに、当日の模様は 10.29（土）10：35 ～ 11：30 に 1 時間番組としてテレビ放映された。

(7)「まちなかコレクション in KUMAMOTO 2016」での PR

H28.11.26 若者、女性に関心の高いファッションをテーマにしたイベントのオープニングステージのゲストとして、「オムロンピンディーズ」から選手が出演。幅広い年齢層の観客を前に、2019 年大会の PR を行い、大会成功に向かっての機運を高めた。

(8) 第 68 回日本ハンドボール選手権大会における大会広報

H28.12.24（土）～ 25（日）（準決勝、決勝）駒沢体育館にて、PR ブースを設置し、バックパネル、幟を掲出。併せてチラシ及びグッズ類を配布。くまモンも応援に駆けつけ、子どもたちを相手にゴールキーパーを努める。また、顔出しパネルを活用し、SNS 拡散を図る。

(9) 女子日本リーグ県内開催会場での PR

以下の試合において PR ブースを設置し、協賛車両や大型バルーン、バックパネル、幟等を掲出するとともにチラシ及びグッズ類を配布。

◆県内開催の女子日本リーグ戦
- H29.1. 9(月) 水俣市総合体育館
  オムロン 対 飛騨高山ブラックブルズ岐阜
- H29.1.14(土) 山鹿市総合体育館
  オムロン 対 三重バイオレットアイリス
- H29.1.21(土) 山鹿市総合体育館　オムロン 対 ソニーセミコンダクタマニュファクチュアリング
- H29.1.28(土) 人吉スポーツパレス　オムロン 対 HC 名古屋
- H29.2.18(土) 天草市民センター　オムロン 対 北國銀行

(10) RKK「夢くまモン応援隊」の取材

H28.12.15　日本選手権大会に出発する直前のオムロンピンディーズの協力を得て、2019 年の大会 PR を実施。（放映：H29.1.25）

(11) ボールゲームフェスタ in 熊本

H29.2.18 県立東稜高校で日本トップリーグ機構による「ボールゲームフェスタ」が開催され、益城・西原の小学生が中心となって、様々なボールゲームに参加した。また、会場前において PR ブースを設置し、パネル、幟を掲出。併せてチラシ及びグッズ類を配布。

（12）熊本城マラソンでの大会 PR

熊本城マラソン 2017 の参加者への開催要項等の通知に大会 PR のチラシを同封。
また、H29.2.17（金）～ 18（土）選手受付の際に日本リーグプレーオフ PR のティッシュを配布。

（13）駐日フランス大使館公邸における 2019 女子ハンドボール世界選手権 PR

H29.2.28（火）にフランス大使公邸を、大会アンバサダーのくまモンが訪問。同大会熊本開催を PR。
※フランス代表は 1 月に開催された男子ハンドボール世界選手権において、優勝するなど世界トップレベルであり、ハンドボール人気が非常に高い。

右からダナ駐日フランス大使、イダルゴ パリ市長

（14）2019 女子ハンドボール世界選手権大会の 1000 日前イベント

・H29.3.5（日）9：00 ～
2019 女子ハンドボール世界選手権大会 1000 日前決起大会
山鹿市総合体育館「TKU 旗熊本オープンハンドボール大会」開会式前
・H29.3.5（日）12：00 ～
2019 開催国際スポーツ大会カウントダウンボード除幕セレモニー
熊本城二の丸広場　武将隊イベント「戦国パーク」内

山鹿市での記念イベント

熊本市での記念イベント

カウントダウンボード

武将隊イベントでの PR

（15）国際スポーツ大会競技普及事業ハンドボール教室の開催（県内 10 会場）

県内 10 の小学校において、県内外の優れた指導者を講師に招き、各実施校の児童及び実施校管内の小・中学校教職員を対象に実施。

講師：前日本代表監督

（16）その他各種イベントでの PR 活動

下記の各種イベント等において、ブース設置などを行い、大会 PR 及び大会開催に向けた機運醸成を図った。

H28.10.14 ～ 15　ねんりんピック長崎
H28.10.23　　　　西部ガスまつり
H28.11.14　　　　東京熊本県人会

（17）その他各媒体での PR

①県からのたより（H28.12.15 発行）

県からのたより
12
No.114
世界とつながる熊本

国際スポーツ大会を盛り上げよう！
ラグビーワールドカップ2019
2019 女子ハンドボール世界選手権大会
くまモン新イラストができました！
2019 女子ハンドボール世界選手権大会

②県政特集（H29.1.29 熊本日日新聞）

県政特集
世界とつながる新たな熊本の創造
世界に挑み、世界を拓く　～ヒト・モノの流れの創出のために～
世界に開くゲートウェイ
「KUMAMOTOブランド」の世界展開　～海外とのつながり強化～

③各所への PR 掲出

大会 PR 及び大会開催に向けた機運醸成のため次のとおり設置。

県庁プロムナード街灯フラッグ（H28.10.29 設置）　阿蘇くまもと空港 第 4 搭乗口（左 H28.12.25 設置、右 H29.3.4 設置（現在））

・ RKK ラジオ「小松士郎のラジオのたまご」
　◆コーナー　「ガンバレ！ハンドボール女子　おりひめジャパン」
　◆放送日　　毎月第 4 週木曜 17：15 ～ 17：30 頃

7　熊本国際スポーツ大会実行委員会設立総会

H28.11.2　2019 女子ハンドボール世界選手権大会組織委員会第 5 回理事会終了後、県や熊本市、関係市町村、経済・各種スポーツ団体、報道機関等の代表らが集まり、実行委員会が結成された。くまモンを熊本国際スポーツ大会アンバサダーに任命し、女子ハンドボール世界選手権大会やラグビーワールドカップ 2019 の成功のため、盛り上げていくこととした。

くまモンアンバサダー任命式

知事、開催市長による決意表明

JHA（蒲生副会長）とKHA（島田会長）

オムロン（永田選手）による決意表明

8　復興支援イベント

○「オムロンピンディーズによる宇城市の小中学校生との交流会」

オムロンハンドボール部が､熊本地震で被災した子どもたちに元気と勇気を届けるため、宇城市の小中学生とハンドボールを通して交流。

◆日　時　H28.6.7(火)
◆場　所　豊福小学校、小川中学校
◆参加者　豊福小６年生、小川中、松橋中ハンドボール部員

○「熊本地震・震災復興支援チャリティーマッチ in 熊本」

岩本真典氏の呼びかけで、熊本地震で被災した子どもたちに元気と勇気を届けるため、ハンドボールのチャリティーマッチを開催。

◆日　時　H28.7.2(土)、3(日)
◆場　所　熊本市立千原台高等学校体育館
◆参加者　大崎電気、トヨタ紡織九州ハンドボール部、
　　　　　熊本県内小中学校ハンドボール部 他

○トヨタ車体株式会社より平成 28 年熊本地震義援金を受贈

「トヨタ車体ブレイヴキングス」の母体である、トヨタ車体株式会社が、トヨタ車体労働組合とともに、熊本地震で被害を受けた本県に対し義援金を贈呈。

◆受贈日　H28.7.6(水)
◆贈呈者　林常務役員、吉續労組執行委員長、藤本ハンド部主将、三木労組執行委員
◆義援金額　11,239,732 円（トヨタ車体労働組合）
　　　　　　2,000,000 円（トヨタ車体株式会社）

○「熊本地震復興支援『ハンドボール男子日本代表』との交流会」

オルテガ監督率いるハンドボール男子日本代表が、熊本地震で被災した子どもたちに元気と勇気を届けるため、阿蘇郡内の小中学生とハンドボールを通して交流。

◆日　時　H28.7.27(水)
◆場　所　高森町民体育館
◆参加者　男子日本代表選手及び役員、阿蘇郡市の小中学生

9　今後のスケジュール

・H29.6.27(火)　2017 女子世界選手権大会組み合わせ抽選会（ドイツ）
・H29.8.3(木) ～ 8.6(日)　熊本地震復興支援女子ハンドボール国際大会 JAPAN CUP 2017

2017年IHF女子世界選手権(ドイツ)組合せ抽選終える

重要な一歩が踏み出されました。「ハンニバル」は、ドイツで開催された第 23 回 IHF 女子世界選手権（12 月 1 日～ 17 日）の正式なマスコットになります。

ドイツハンブルク連盟事務局長 Mark Schober は、「ドイツのハンドボールファンはすべてハンニバルを知っており、特に子どもたちは本当に彼を愛しています。彼は優秀な雰囲気の主な理由の一つであり、ドイツチームのあらゆる国際試合で激しい顔をしています」

ハンニバルは、ドイツハンドボール連盟の正式なマスコットで、10 年以上にわたり、「Ladies」と「Bad Boys」の各家庭ゲームの一部です。2007 年、ドイツで最後の世界選手権が開催されたとき、ハンニバルは公式のトーナメントマスコットでもありました。当時、ドイツの男子代表チームはホームの観衆の前で金メダルを獲得しました。

「ハンニバルとファンの間の化学反応はすでに 10 年前には素晴らしいものでした。だから、ハンドボールのフェスティバルを楽しみにしているのは、ハンニバルが 12 月に世界各地のハンドボールファンを迎えて祝うということです。」

2017 年 12 月 1 日から 17 日まで、ドイツで第 23 回 IHF 女子世界選手権大会が開催されます。
6 月 27 日、抽選会はハンブルクで開催され、各大陸から選ばれた 24 チームの組み分けが行われました。
抽選に先だって、6 つのポットに振り分けられ、日本はポット 5 となりました。

ポット 1：ノルウェー、オランダ、フランス、デンマーク
ポット 2：ルーマニア、ドイツ、ロシア、スウェーデン
ポット 3：セルビア、チェコ共和国、スペイン、ブラジル
ポット 4：ハンガリー、モンテネグロ、スロベニア、韓国
ポット 5：アンゴラ、**日本**、アルゼンチン、中国
ポット 6：パラグアイ、チュニジア、カメルーン、ポーランド

各ポットから 1 チームが抽選され、最終的には以下の通り 4 グループ（1 グループ:6 チーム）が決まりました。
日本は、グループ C となり、他には 2016 欧州選手権４位のデンマーク、2016 オリンピック金メダルのロシア、2013 世界選手権チャンピオンのブラジル、2012 オリンピック銀メダルのモンテネグロ、2016 アフリカ選手権準優勝のチュニジアです。

2017年IHF女子世界選手権（ドイツ）組合せ抽選終える

ディフェンディングチャンピオンのノルウェーがグループＢに入り、他に2016オリンピック準々決勝進出のスウェーデン、チェコ共和国、ハンガリー、2016パンアメリカン準優勝のアルゼンチン、そしてポーランドとなりました。

グループＡでは、2016オリンピック銀メダリストのフランス、2015世界選手権３位のルーマニア、2012オリンピック銅メダリストのスペイン、2005年に最後に参加して以来の世界選手権に復帰したスロベニア、2016アフリカチャンピオンのアンゴラ、世界選手権３度目のパラグアイです。

グループＤは、2015年世界選手権とヨーロッパ選手権2016で共に銀メダルを獲得したオランダ、地元開催のドイツ、2013世界選手権準優勝セルビア、2016アジア選手権優勝の韓国と同３位の中国、2016アフリカ選手権３位のカメルーンです。

グループＡ：フランス、ルーマニア、スペイン、スロベニア、アンゴラ、パラグアイ（トリアー）
グループＢ：ノルウェー、スウェーデン、チェコ共和国、ハンガリー、アルゼンチン、ポーランド（ビーティッヒハイム・ビッシンゲン）
グループＣ：デンマーク、ロシア、ブラジル、モンテネグロ、日本、チュニジア（オルデンブルク）
グループＤ：オランダ、ドイツ、セルビア、韓国、中華人民共和国、カメルーン（ライプツィヒ）

■予選リーグの地となるニーダーザクセン州は、ドイツ連邦共和国を構成する16の連邦州のひとつで、ドイツ北西部に位置し州都はハノーファー。会場のオルデンブルク（Oldenburg（Oldb））は、ニーダーザクセン州北西部に位置する代表的な都市です。

グループＣ会場の「Große EWE ARENA」は2013年オープンされ、5500名の収容です。

シートは、３ランクが設定され、10試合パッケージで最高150ユーロ、土曜日２試合で35ユーロ、最も格安では12ユーロなど座席と年齢等により、細かな設定がされています。

■2017年７月10日、国際ハンドボール連盟と2017年IHF女子世界選手権大会の組織委員会が競技会の試合スケジュールを発表しました。

開催国ドイツは開幕戦でカメルーンと対戦、日本の初戦はブラジルです。

試合スケジュール

December 2017	Session	Fri 1	Sat 2	Sun 3	Mon 4	Tue 5	Wed 6	Thu 7	Fri 8
		Preliminary Round (PR)							
TRIER • ARENA Trier • Group A									
France Romania Spain Slovenia Angola Paraguay	Midday session		#2 14:00	#13 14:00		#25 14:00		#43 14:00	#49 14:00
	Evening session		#5 18:00 #9 20:30	#17 18:00 #21 20:30		#29 18:00 #33 20:30		#45 18:00 #47 20:30	#53 18:00 #57 20:30
BIETIGHEIM-BISSINGEN • EgeTrans Arena • Group B									
Norway Sweden Czech Republic Hungary Argentina Poland	Midday session		#3 14:00	#14 14:00		#26 14:00		#44 14:00	#50 14:00
	Evening session		#6 18:00 #10 20:30	#18 18:00 #22 20:30		#30 18:00 #34 20:30		#46 18:00 #48 20:30	#54 18:00 #58 20:30
OLDENBURG • Große EWE Arena • Group C									
Denmark Russian Federation Brazil Montenegro Japan Tunisia	Midday session		#4 14:00	#15 14:00		#27 12:00	#37 14:00		#51 12:00
	Evening session		#7 17:45 #11 20:15	#19 17:45 #23 20:15		#31 17:45 #35 20:15	#39 17:45 #41 20:15		#55 17:45 #59 20:15
LEIPZIG • Arena Leipzig • Group D									
Netherlands Germany Serbia Republic of Korea China PR Cameroon	Midday session			#16 14:00		#28 12:00	#38 14:00		#52 14:00
	Evening session	#1 19:00	#8 15:30 #12 18:00	#20 18:00 #24 20:30		#32 15:30 #36 18:00	#40 18:00 #42 20:30		#56 18:00 #60 20:30

試合スケジュール

Eightfinals (EF) President´s Cup (PC)			Quarterfinals (QF)		Semifinals (SF)		Bronze/Gold	
Sat 9	Sun 10	Mon 11	Tue 12	Wed 13	Thu 14	Fri 15	Sat 16	Sun 17

EF Magdeburg:	EF2: 3D-2C, EF4:1D-4C, EF5: 3C-2D, EF8: 1C-4D
EF Leipzig:	EF1: 1B-4A, EF3: 3B-2A, EF6: 1A-4B, EF7: 3A-2B
QF Match ups:	QF1: Winner EF1-Winner EF2, QF2: Winner EF3-Winner EF4
	QF3: Winner EF5-Winner EF6, QF4: Winner QF7-Winner EF8
German games:	(orange)

IHF reserves the right to change throw-off times and assignment of matches at any time.

MAGDEBURG • GETEC-Arena

Sun 10	Mon 11	Wed 13
#62 11:30 6.A - 6.B	#70 11:30 Losers #62- #64	
#64 14:00 6.C - 6.D	#72 14:00 Winners #62- #64	
#66 17:30 EF	#74 17:30 EF	#79 17:30 QF
#68 20:30 EF	#76 20:30 EF	#80 20:30 QF

HAMBURG • Barclaycard Arena

Fri 15	Sun 17
#81 17:30 SF1	#83 14:30 Bronze
#82 20:30 SF2	#84 17:30 Gold

LEIPZIG • Arena Leipzig

Sun 10	Mon 11	Tue 12
#61 11:30 5.A - 5.B	#69 11:30 Losers #61- #63	
#63 14:00 5.C - 5.D	#71 14:00 Winners #61- #63	
#65 17:30 EF	#73 17:30 EF	#77 17:30 QF
#67 20:30 EF	#75 20:30 EF	#78 20:30 QF

女子世界選手権【過去の成績】

回数	開催年	開催地	参加国数	優勝	2位	3位	日本の成績
1	1957.7.13-20	ユーゴスラビア	9	チェコスロバキア	ハンガリー	ユーゴスラビア	不出場
2	1962.7.7-15	ルーマニア	9	ルーマニア	デンマーク	チェコスロバキア	9位
3	1965.11.7-13	西ドイツ	8	ハンガリー	ユーゴスラビア	西ドイツ	7位
4	1971.12.11-19	オランダ	9	東ドイツ	ユーゴスラビア	ハンガリー	9位
5	1973.12.7-15	ユーゴスラビア	12	ユーゴスラビア	ルーマニア	ソ連	10位
6	1975.12.2-13	ソ連	12	東ドイツ	ソ連	ハンガリー	10位
7	1978.11.30-12.10	チェコスロバキア	12	東ドイツ	ソ連	ハンガリー	不出場
8	1982.12.2-12	ハンガリー	12	ソ連	ハンガリー	ユーゴスラビア	不出場
9	1986.12.4-14	オランダ	16	ソ連	チェコスロバキア	ノルウェー	14位
10	1990.11.24-12.4	韓国	16	ソ連	ユーゴスラビア	東ドイツ	不出場
11	1993.11.24-12.5	ノルウェー	16	ドイツ	デンマーク	ノルウェー	不出場
12	1995.12.5-17	オーストリア･ハンガリー	20	韓国	ハンガリー	デンマーク	13位
13	1997.11.30-12.14	ドイツ	24	デンマーク	ノルウェー	ドイツ	17位
14	1999.11.29-12.12	デンマーク･ノルウェー	24	ノルウェー	フランス	オーストリア	17位
15	2001.12.4-16	イタリア	24	ロシア	ノルウェー	ユーゴスラビア	20位
16	2003.12.2-14	クロアチア	24	フランス	ハンガリー	韓国	16位
17	2005.12.5-18	ロシア	24	ロシア	ルーマニア	ハンガリー	18位
18	2007.12.2-16	フランス	24	ロシア	ノルウェー	ドイツ	19位
19	2009.12.5-20	中国	24	ロシア	フランス	ノルウェー	16位
20	2011.12.2-18	ブラジル	24	ノルウェー	フランス	スペイン	14位
21	2013.12.6-22	セルビア	24	ブラジル	セルビア	デンマーク	14位
22	2015.12.5-20	デンマーク	24	ノルウェー	オランダ	ルーマニア	19位
23	2017.12.1-17	ドイツ	24				
24	2019	日本	24				

実施報告

日体協公認コーチ養成講習会専門科目講習会

指導委員長　藤本　元

1．講習会概要

2017年6月23日（金）から26日（月）までの4日間、筑波大学及び筑波研修センターにおいて、全国から22名の指導者を迎え、日本体育協会公認コーチ養成講習会専門科目講習会を開催いたしました。受講していただきやすいように、昨年度から開催期間を6日間から4日間へと短縮しました。今回も小学生・中学生の指導者から、高校、大学、日本リーグの指導者、現役の実業団選手及び元日本代表選手まで、幅広い指導者に集まっていただきました。今まで同様「コーチング実習」をメインカリキュラムとしながら、昨年度の講義科目をさらに精査し、4日間のストーリーがある講習会になるように組み立てました。ハードでタフな講習会でしたが、受講生の活発な参加により、中身の濃い充実した講習会となりました。受講者のアンケート（無記名）を集計した結果、講義の評価も4点満点で平均3.9点の評価を受けました。

2．「公認コーチ資格」の位置づけと受講希望者の推薦基準

日本体育協会は、「公認コーチ資格」を次のように位置づけております。

【日本体育協会における「公認コーチ資格」の位置づけ】

①　各競技団体の都道府県レベルにおける競技者育成を担当する方のための資格

②　広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、高いレベルの実技指導をする方にはぜひ取得していただきたい資格

- 有望な競技者の育成にあたる方
- 広域スポーツセンターの巡回指導に協力する方
- 国民体育大会の監督にあたる方　など

この位置づけをもとに、日本ハンドボール協会では、昨年度より公認コーチ養成講習会受講者に以下のように推薦基準を設定しました。

【日本ハンドボール協会における公認コーチ養成講習会受講者の推薦基準】

以下の推薦基準を 1 つ以上満たす者

① 公式大会において各都道府県のベスト 4 以上の成績を納めたチームを指導した経験を有する指導者

② 各都道府県の競技力向上事業や NTS ブロックトレーニングなどにおいて、巡回指導を行う指導者

③ JOC ジュニアオリンピック大会や国民体育大会など都道府県の代表チームを指導している、または指導する予定の指導者

④ 高いレベルでの実技指導を行っている、または今後行う予定がある指導者で、各都道府県理事長、各連盟理事長、日本リーグ各チーム責任者が推薦する指導者

この基準をもとに、各都道府県協会、各連盟、日本リーグチームから受講希望者を推薦していただきました。なお、今年度の受講希望者の推薦申し込みの締め切りは、2017 年 3 月 24 日でした。

3. 受講開催期間の短縮と講習会における自宅研修の個人課題の活用

先にも述べましたが、昨年度からこの講習会を 6 日間 60 時間から、4 日間 40 時間へと短縮しました。この 20 時間のギャップは、自宅研修として受講者に事前の個人課題を課すことで補い、またこの個人課題を講習会で活用しました。

【自宅研修としての個人課題内容】

① 私が描くハンドボール指導構想

これまで、自分が監督・コーチを務めたチームや、これから携わるであろう将来のチームをイメージして、「チームプラン（チームマネージメント）」について、自分の考えやこだわりを整理する。

→講習会において課題発表時に 15 分間のプレゼンテーション

② 仲間と描くコーチング実習案

講習会で行われる「コーチング実習」の課題となる 2 対 2 の攻撃または防御について、自分の理論を整理する（3：3 のオープンディフェンスを想定）。

→講習会においてグループ検討時にプレゼンテーション

4. 講習会のカリキュラム構成の狙い

今回の講習会では、3 つの狙いを持ってカリキュラムを構成しました。1 つ目は、ハンドボールゲームの全体像や性質を理解してから、そのゲームに必要なチーム・グループ・個人技能へと競技力の全体構造を捉え直してもらうことです。そのために、ハンドボール競技の特性や歴史を再度理解してもらい、ゲーム局面の捉え方、実技を含めた世界における戦術の発展、ゲームの分析方法、これらの内容を踏まえて、コーチング実習では攻撃及び防御のグループ・個人技能へと講習会を展開しました。また、講習会の後半には競技に必要となる体力面へのアプローチ（講師：森口哲史先生）、どうしても不足がちになるゴールキーパー技能トレーニング（講師：北林健治先生）を入れました。

2 つ目は、競技に打ち込んでいく我々指導者また選手にとってのハンドボール競技の価値とは何なのか、また、どのようにすれば指導者として成長していくのかを考え直す機会にしてもらうことです。そのために、ハンドボールゲームの成り立ちを踏まえた「指導者のあり方」を日本女子体育大学教授の笹倉清則先生に、また、「指導者がどう熟達化していくのか」を筑波大学教授の會田宏先生に講義していただきました。また、三輪一義指導普及本部長より「指導者のコンプライアンス」について、「体罰肯定者に対してどのようにアプローチしますか？」と

言うテーマで、建前論を超えて考えていただく講義を実施しました。いずれの講義についても、受講者から高い評価をいただきました。

３つ目は、より中身の濃いコーチング実習のための新たな試みを行ないました。今回デモンストレーターとなっていただいたのは、つくば市立手代木中学校男子ハンドボール部員 23 名です。選手たちを事前に３チームに分け、課題となるオフェンシブなオープン防御とその防御に対する攻撃を行ってもらい、映像に収めました。ゲーム分析の実習では、その映像を実際に加工したものがグループごとに配られました。この映像をもとに、選手の特徴を踏まえて、トレーニング内容を作成してもらいました。実際のコーチング実習では、一度トレーニングした後に再度修正のためのトレーニングの時間をとり、最後にはトレーニング効果を評価するための総当たりのゲームを行いました。その結果、今まで以上に選手たちに対しての指導は細やかになり、また選手たちと密なコミュニケーションをとることができ、最後のゲームも熱戦となりました。終わった後の選手たちの晴れやかな顔が非常に印象的でした。

中学生年代は、仲間と緩やかな約束事の中で協力してプレーしたり、そのために必要な技術を習得したり、その技術を相手に対峙しながら試したり、うまくいかない時に考え工夫しながらプレーしたりすることを学ぶ大切な時期です。この時期に、様々な状況の中での２対２、３対３の守り方及び攻め方を習得しておかないと、その後の選手の成長に制限がかかってしまいます。こうしたことを理解し、ジュニア期の指導に目を向けていただくために、中学生にデモンストレーターをお願いしました。

5．講習会クオリティー向上のための「アクティブ・ラーニング」の積極的な導入

この講習会への推薦基準を見ていただければ分かる通り、受講者のほとんどはすでに現場で多くの経験を積まれた指導者であり、自分なりの理論をすでに構築していることが想像されます。この講習会の狙いとして、そうした指導者に今までの自分のコーチングを整理しながら振り返ってもらうこと、また他の指導者が行ってきたコーチングのフィロソフィーやノウハウを共有してもらうこと、があります。こうした狙いをより効果的に達成するために、「アクティブ・ラーニング」形式を積極的に導入しました。

【アクティブ・ラーニング】（文部科学省）
教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。

今回の公認コーチ養成講習会では、計 19 時間の「アクティブ・ラーニング」形式の講義を行いました。その内訳は、①自宅研修としての個人課題の「私が描くハンドボール指導構想」の発表とその発表に対する質疑応答に６時間、

②もう一つの個人課題「仲間と描くコーチング実習案」をもとにしたディスカッション及びワールドカフェを経たグループによるコーチング実習案作成に8時間+α(時間外)、③コーチング実習の実施と他グループの評価に4時間、④ゲーム分析スキル実習におけるグループディスカッション及び発表に1時間です。

6. 審判と指導者の共通理解とそれぞれの立場から「レフェリング」を考えるための合同講義の実施

講習会3日目の午前に国際審判員でなおかつ今回の受講者でもあった大熨嘉彦先生と指導委員長である藤本により「レフェリングの実際」というテーマで、講義を行いました。まず、大熨先生より、審判のあり方、審判から見たベンチの振る舞い、また現在のステップ及びハード/ラフプレーについて、解説していただきました。その後、大熨先生と藤本により、ハンドボールの成り立ちや競技特性などを踏まえて、競技規則をどう捉えるか、なぜ競技規則の変更が起こったのかなどを議論し、最後に今年のチャンピオンズリーグの映像を見ながら、戦術やレフェリングを解説しました。

7. 講習会総括と指導者養成の今後の展望

今回の講習会においても、受講者の積極的な参加により、受講者がお互いに刺激を受けながら、自分のコーチングを見直してもらうという狙いを概ね達成できたと感じております。

講義内容を精査した結果、速攻の戦術、現代のトレーニングの組み立て方、心理面などの講義に時間が取れませんでした。また、体力・フィジカルトレーニング、個人技能についても時間が十分ではありませんでした。

ただ、こうした内容については、コーチセミナーやトップコーチセミナーを定期的に開催し、随時有資格者に情報提供するとともに、研修・研鑽の場を設定して行こうと思います。これは、指導委員会のビジョンである「指導者が学び、研鑽し続けることができる指導者養成システム(CTS:Coach Training System)の構築」の一環です。そして、公認コーチ、上級コーチの資格を持った方々が、各都道府県における指導者養成講習会の講義者になっていっていただき、「全ての指導者へ学ぶ機会を保障する」システムを整えていくことが、指導委員会のミッションと考えております。そのために、各ブロック及び各都道府県の指導者養成の責任者を集めた指導委員会全国研修会を今年度も2月に実施予定です。また、今年度末にはIHF・EHF公認のハンドボールのガイドブック「Playing Handball」の和訳本の発行を予定しております。

人を指導することにより成長し、自分の人生を豊かにできる指導者が日本に溢れ、ハンドボールの未来が少しずつ開けていくことを指導委員会のポリシーとしております。そのための指導委員会の活動について、今後とも皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

謝辞　最後に、今回コーチング実習にご協力いただきましたつくば市立手代木中学校男子ハンドボール部員の皆様と顧問の大原雅広先生（前けやき台中学校男子ハンドボール部顧問・U-16 男子日本代表チームコーチ）に、この場を借りてお礼申し上げます。選手たちは、慣れない環境、知らない指導者、初めてのトレーニングに臆することなく、受講生の話に耳を傾け、実直に一生懸命トレーニングに取り組んでくれました。選手のその姿勢から受講生が逆に多くのことを教わりました。また、大原先生の普段からのきめ細かい指導と、この事業に対するご理解のおかげで実りあるコーチング実習となりましたことに感謝申しあげます。

平成 29 年度　日体協公認コーチ養成講習会　受講者名簿

1	邉 輝哲	岩手県	岩手県立盛岡南高等学校
2	小野寺 絵里奈	岩手県	岩手県立盛岡商業高等学校
3	藤原 大輔	宮城県	（東北学院大学監督）
4	一木 ゆかり	栃木県	県立栃木商業高等学校
5	中川 和人	栃木県	國學院大学栃木高等学校
6	川俣 泰幸	埼玉県	川口市立戸塚中学校
7	栗田 基秀	静岡県	静岡県立天竜高校
8	横山 大介	滋賀県	滋賀県立彦根翔西館高校
9	井上 諒太郎	滋賀県	近江兄弟社中学校・高等学校
10	大熨 嘉彦	岡山県	岡山理科大学附属高等学校
11	国重 茉衣	岡山県	HC 岡山
12	庄屋 亮二	鹿児島県	県立鹿児島南高等学校
13	小牟禮 竜太	鹿児島県	県立川内商工高等学校
14	猪妻 正活	茨城県	（国体成年男子コーチ）
15	豊田 賢治	全日本学連	国士舘大学
16	実方 智	関東学連	（中央大学監督）
17	鈴木 千寿	関東学連	日本体育大学大学院
18	本田 晨	東海学連	岐阜大学大学院
19	松信 亮平	JHL	琉球コラソン
20	石田 孝一	JHL	琉球コラソン
21	東長濱 秀作	JHL	琉球コラソン
22	岸川 英誉	JHL	大同特殊鋼

フリースロー

Free Throw

JHL楽しみな新戦力

企画・広報委員

早川　文司

　日本リーグが26日開幕する。今シーズンはどんなドラマが各地のコート上で繰り広げられるか、楽しみいっぱいである。42回目の今シーズンは女子が2チーム増え、男女とも9チームが3回戦総当たりでの開催となった。女子が増えたのは、38回に飛騨高山が加わって7チームになって以来。9チームは第26回以来実に15年ぶりである。一時は5チーム時代もあったことを考えれば、うれしい限りだが、12チームでのシーズンもあったことを思えば、寂しさもある。

　それはともかく、2020年東京五輪へ向けてハンドボールをアピールするためには、参加チームが増えるのはありがたいことである。試合数が多くなり、世間に認知される機会が増すのは間違いない。今回参戦するのは、大阪ラヴィッツと富山をホームとするプレステージ・インターナショナル　アランマーレ。先の全日本社会人選手権で全国ファンにお目見えした。大阪ラヴィッツは田中美音子、アランマーレは横嶋かおると、日本代表として活躍した名プレーヤーがリードする。初陣の社会人選手権では結果は残せなかったが、順位決定戦で大阪ラヴィッツがアランマーレを下して一歩リードの感じだ。さて、本番の日本リーグではどのような戦いぶりを見せるか。大阪ラヴィッツはHC名古屋、アランマーレはオムロンとそれぞれ開幕戦を迎える。フレッシュな戦いでリーグに新風を吹き込み、ハンドボールという競技を多くのスポーツファンに印象づけてもらいたいものである。

　一方、新シーズンを迎え、多くの新しい顔が満を持して登場する。大学で、高校で好成績を挙げた選手もいるが、これまでにもリーグでぐんぐん成長したアスリートも数えきれない。先輩たちを押しのけるような激しい気迫と闘争心で練習に励み、それぞれのチームの戦力底上げに貢献し、成績につながるプレーを見せてもらいたいものである。また、3年後の東京五輪を見据えての戦いも楽しみだ。それが日本代表のレベルアップ、世界の舞台での活躍につながってくることは明らかだ。各チームにとって「新鮮力」による刺激、挑戦はまたとない活性化のエネルギーである。先輩・後輩一体となってチーム力を高めることが、リーグを盛り上げることにもつながる。多くのファンに埋まったアリーナでの勝負は、思いも寄らない力を生み出してくれるはずだ。楽しく、激しく、感動を与えるゲームで3年後への力強い歩みを期待したい。「ハンドの広告塔」としての気概を存分に発揮することこそ、新戦力に求められる使命かも知れない。

スコアールーム

第37回全国クラブハンドボール選手権大会西地区大会

開催期日：2017年7月1日（土）～2日（日）
会　　場：鳴門市北島町・鳴門アミノバリューホール、北島北公園体育館

【男　子】

▼予選リーグA

熊本教員クラブ	23－22	S C G
熊本教員クラブ	20－18	徳島クラブ
S C G	23－19	徳島クラブ

▼予選リーグB

B.I.C	18－10	N O B
B.I.C	25－12	境港クラブ
N O B	32－14	境港クラブ

▼予選リーグC

中央クラブ	19－12	総社クラブ
中央クラブ	18－11	あらかき歯科
総社クラブ	18－17	あらかき歯科

▼予選リーグD

SFIDA山口	24－13	Various鹿児島
SFIDA山口	25－12	新居浜クラブ
Various鹿児島	20－15	新居浜クラブ

▼9－11位決定戦

徳島クラブ	19－17	境港クラブ
あらかき歯科	18－13	新居浜クラブ
徳島クラブ	15－13	あらかき歯科

▼5－7位決定戦

N O B	23－22	S C G
総社クラブ	18－14	Various鹿児島
N O B	24－13	総社クラブ

▼準決勝

B.I.C	28－17	熊本教員クラブ
SFIDA山口	22－17	中央クラブ

▼決勝

SFIDA山口	22－21	B.I.C

【女子】

▼予選リーグA

HC長崎	23－9	宜野湾ガスクラブ
HC長崎	26－8	徳島クラブ
宜野湾ガスクラブ	19－13	徳島クラブ

▼予選リーグB

ninfa-kagoshima	27－20	HC宮崎
ninfa-kagoshima	25－17	アーホルンHC
HC宮崎	23－9	アーホルンHC

▼予選リーグC

E H C	29－13	HC岡山
E H C	15－11	F C C
HC岡山	21－13	F C C

▼予選リーグD

香川レディース	24－17	徳山クラブ
徳山クラブ	21－17	佐賀クラブ
佐賀クラブ	12－11	香川レディース

▼9－11位決定戦

徳島クラブ	21－13	アーホルンHC
F C C	16－15	佐賀クラブ
徳島クラブ	12－0	F C C

▼5－7位決定戦

宜野湾ガスクラブ	23－18	HC宮崎
徳山クラブ	18－13	HC岡山
徳山クラブ	30－20	宜野湾ガスクラブ

▼準決勝

ninfa-kagoshima	19－16	HC長崎
E H C	29－18	香川レディース

▼決勝

E H C	32－20	ninfa-kagoshima